

山雲水月

発行責任者 龍源寺 住職 渡辺龍道

平成27年 龍源寺年間行事予定

- 1/1~1/3 年頭祈禱・年賀受
- 1/4~1/7 年始挨拶
- ※1/10 年賀寺例
- ※2/3 大節分会
- ※2/15 釈尊涅槃会
- ※3/8 大般若会併修大施食会法要
- ※3月中旬 筆供養法要
- 3/18~3/24 春季彼岸会
- 3/23 旧蚕影山例祭日
- ※4/8 釈尊降誕会(花祭り)
- 4/29 大施食会併蚕影山例祭法要
- 5月中旬 檀信徒研修旅行
- 7/13~7/16 京浜地区檀信徒棚経
- ※7月下旬(一泊二日) 第34回子供禪の集い
- 8月上旬 夏季おてんま
- ※8/10 中元寺例
- 8/13~8/16 盂蘭盆会
- 9/20~9/26 秋季彼岸会
- 12月上旬 冬季おてんま
- ※12/8 釈尊成道会
- ※12/10 歳暮寺例
- ※12/31 除夜会
- ※毎週土・日曜日 書道教室
- ※毎週水曜日 定例坐禅会
- ※隔週水曜日 梅花講・琴教室・華道教室
- ※宗務所執務日 毎週月・水・金曜日
- ※は、御本寺仁叟寺にて開催

平成27年乙未 住職年頭挨拶 謹賀新年



「潜行密用如愚如魯 只能相続名主中主」(せんこうみつようは ぐのごとくろのごとし ただよくそうぞくするを しゅちゅうのしゅとなづく) 『宝鏡三昧』より

新年、明けましておめでとうございます。
 年頭に当たりまして、本年は、中国唐代の禅僧・洞山良价禅師の遺したお言葉を紹介いたします。
 我々曹洞宗門では、『宝鏡三昧』は『参同契』と同じく宗要を説いた聖典として、しばしば唱えられます。その『宝鏡三昧』の最後の言葉に、「潜行密用如愚如魯 只能相続名主中主」(読み下し文・潜行密用は 愚の如く魯の如し 只能く相続するを 主中の主と名付く)とあります。
 意味は、「誰にも評されなくても、全力を尽くし、存分にただ行ずる。簡単な事ではないけれども、只管に続ける事によって、他を愛し自を愛し、限りある今この時間をしっかりと生きる事に繋がる」と云ったところでしょうか。不器用でも良い、しっかりと行ずる、それを続ける。佳き「相承」の年にしたいものです。

平成27年 年回表

一周忌	平成二十六年	二十三回忌	平成五年
三回忌	平成二十五年	二十七回忌	平成元年
七回忌	平成二十一年	三十三回忌	昭和五十八年
十三回忌	平成十五年	五十回忌	昭和四十一年
十七回忌	平成十一年	百回忌	大正五年

- ※1 以上、各ご家庭に於いてご確認下さい。
- ※2 該当檀信徒各家には封書にて通知が届きます。(但し、百回忌を除きます)

龍源寺本堂改修工事に向けて

～新潟県及び北毛古刹寺院等参拝研修旅行～

去る10月23日（木）、龍源寺主催寺院参拝研修旅行を修行いたしました。始めに新潟県は魚沼地域の古刹・林泉庵様を拜登。後、大本山總持寺修行時代の同安居尾山晋祐師が住職を勤め、檀信徒始め多くの方々の協力を経て本堂改修を果たしました天宗寺様や銀山寺様を参拝。また、開山堂で有名な西福寺様をお参りさせていただきました。天候にも恵まれ、いずれの御寺院様でも本堂ほか諸堂をお詣りし、ご住職様のお話を聞かせていただき、良い参拝研修旅行を勤めることが出来ました。

また、コシヒカリが名産である魚沼地域で、昼食を頂戴し、その後には本県渋川市の玄棟院様、雙林寺様を拜登。また、堂宮入秀社寺建築会社様を見学し、有意義な一日を過ごす事が出来ました。参加者より、龍源寺主催の研修旅行も昨年だけで2回行い、非常に得るものが多く有難いとの評価をいただきました。惜しむらくは、参加人数が残念ながら多くなかった事でしょうか。またの機会があれば、是非、多くの方々のご参加をお願いいたしたく存じます。

平日でございましたが、参加された皆様は勿論、温かく迎えて下さいました各御寺院様、バスを提供して下さいました吉井聖苑様はじめ関係各位、有難うございました。



↑新潟県魚沼市・林泉庵様
↓群馬県渋川市・玄棟院様



仁叟寺住職 曹洞宗群馬県宗務所長に就任

仁叟寺住職が、平成26年12月11日（木）を以て、曹洞宗群馬県宗務所長に就任いたしました。24年前には、前住職の渡辺隆司東堂も同じく同所長職を拝命し、戦後間もない県内複数宗務所の頃には、先々代の渡辺石橋老師も同じくその任に当たりました。

曹洞宗群馬県宗務所は、県内354箇寺の曹洞宗寺院を統括し、その宗務行政を行います。また、布教部・梅花部・保育部等の部会や寺族会・婦人会・青年会等の組織も所属し、職員も所長を含め8名の役職員にて構成されております。大本山永平寺様（福井県）、大本山總持寺様

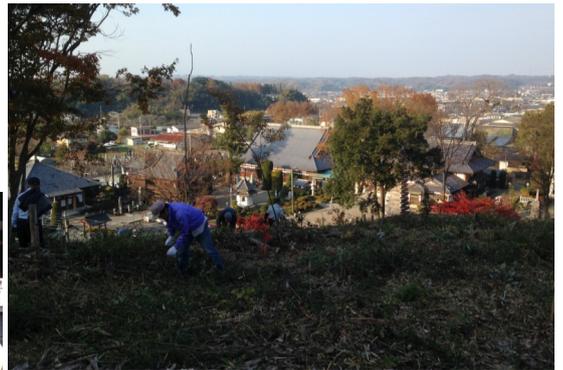
（横浜市）の両大本山様は勿論、東京都に曹洞宗宗務庁（本庁）、埼玉県に関東管区センターがあり、公務出張も数多くあります。

任期は平成30年12月までの4年間であり、その間、檀信徒各位に於かれましては、今まで通りの檀務法務に於いて、代理執行の場面も少なからずあるかと存じます。長男の渡辺龍道副住職兼龍源寺住職、次男の渡辺俊司信永院住職はじめ山内協力し、お勤めを申し上げますので、檀信徒始め関係各位に於かれましては、ご理解ご協力の程、お願い申し上げます。



仁叟寺通信

高崎市里山元気再生事業報告



↑ おてんま風景
(もみじ山頂上付近)
← 奉仕役員集合写真

仁叟寺の竹林を整備し、地元と檀信徒の方々の協力をもって行っております高崎市の事業、里山元気再生事業の継続が決まりました。伐採した竹林は7,000本以上。その跡地には、モミジやサクラ200株を植樹いたしました。なお、作業に当たっては、特に矢島巖さん、小沢昇さん、金井正男さん、加藤壯士さんに一方ならぬご尽力をいただいております。

仁叟寺総代会役員会に併せ、今年の夏と秋におてんま（吉井地域の方言、共同作業や普請の意）を行いました。植樹した木々が、しっかりと根付くよう、下草刈りや篠竹刈り等を総代さん役員さん地元の方々と共にやり、汗を流しました。

当地には、歴史を物語る古墳も多数遺されており、また山内全景や上毛三山、吉井市街等が見渡せる風光明媚な場所。里山再生に相応しい整備を、地域の方々と共に願うところです。

自らを洲とする ～東日本大震災被災地支援～



← ↓ ボランティア活動
(福島県南相馬市小高地区)

去る10月30日から31日に掛けて、福島県南相馬市に慰霊及びボランティア活動に伺って参りました。群馬県曹洞宗青年会有志9名と福島県曹洞宗青年会の会長及び副会長3名と共に、福島県被災地域及び新祥寺様での慰霊と奉仕活動をさせていただきました。

福島県曹洞宗青年会の会長及び副会長は、住職と同じ大本山總持寺での修行仲間。お互いに何か出来ることを考え、今春に両会で行います慰霊と奉仕作業の下見といった側面も兼ね企画。避難解除されて間もない小高地区での作業や今なお居住制限のある浪江町にて慰霊碑前等にて法要を勤めました。



福島県の被災地域は、特に原子力発電所事故の件もあり、復旧がまだまだな箇所が多くございます。出来る事を出来る範囲で、微力ではありますが協力することが出来ればと考えております。

総代長新年挨拶

新年明けましておめでとうございます

新年、明けましておめでとうございます。皆様方には益々ご健勝にてお過ごしのことと、お慶び申し上げます。

前年の恒例の蚕影山例祭、大施食会、檀信徒総会に多数の皆様に参加をいただき、その席上、役員会等で長らく慎重審議いたしました本堂補修工事の報告がありました。耐震強度からも建て直しが必要との事で、総会にて諮り、決議いたしました。

役員会等でも話し合っ総会で打診したところ、多くの皆様の賛同を得たので、町内の新築中のご寺院様を見学をさせていただき、大変参考になりました。

10月には、本県及び新潟県の寺院参拝研修旅行で、歴史的な文化財豊かな寺々を廻り、帰路に群馬県を代表する宮大工・堂宮入秀社寺建築様に伺いま

した。仕事場や建築資材を見て、私個人の腹は決まりました。檀信徒の皆様方のご協力をいただき、五箇年計画で御寄付を募りたく存じますので、何卒ご理解、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

地域、皆様それぞれの立場から意見を出し合い、総力を上げて全力で取り組んで参りたいと思ひます。

平成27年乙未元旦 龍源寺総代人一同
(文責、総代長 出牛裕一)

筆者・出牛裕一 総代長



龍源寺総代人一同

出牛裕一 白田 博 木村照夫

住職 群馬県曹洞宗青年会長に就任

平成27年元旦より、住職が群馬県曹洞宗青年会の会長職を拝命いたしました。40歳以下の県内曹洞宗宗侶が会員となり、50年を超える歴史と伝統のある会であります。会員は現在約70名。仁叟寺が会場にもなりました「緑蔭禅の集い」や「こども禅の集い」、多種多様なボランティア活動、研修会や講演会なども各委員会毎に行われております。前任職も若手宗侶であった際に、会長を勤め、師資二代に亘ってのお役拝命となりました。宜しくお願い申し上げます。

行雲流水 (編集後記)

明けまして、おめでとうございます。

当寺報中にも記載させていただいた通り、前任職が曹洞宗群馬県宗務所長を、当方は群馬県曹洞宗青年会長を拝命いたしました。任に当たって他に譲り難し、出来る範囲でしっかりとお勤めをさせていただこうと思っております。

また、長男哲道がお蔭様で10歳になり地元の多胡小学校に通っております。本年3月に修

編集人 住職 渡辺龍道

行されます仁叟寺大般若会大施食会では、和尚となる一歩を踏み出す「得度式」を、併せて行いたく考えております。檀信徒の皆様温かく見守っていただければ幸いです。

本年も、何卒宜しくお願い申し上げます。合掌。(龍)

